

World Economy 2

2 units 3rd-year(2nd semester)

Takio Mizushima · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 国際的な経済関係は、その歴史的構造のもとでさまざまな問題点を生み出し、その問題点の理解や問題点への対処を巡ってさまざまな議論を引き起こしてきた。講義では、この歴史構造と議論にかかわる基本的論点の整理を行う。

Outline) 世界経済(国際経済)の歴史と理論

Notice) 前期「世界経済論 I」で終了できなかった項目から、後期「世界経済論 II」を開始する。「世界経済論 II」(後期)として2単位を認定するが、「世界経済論 I」(前期)と併せて通年で受講するのが望ましい。

Goal) 学説史、学説、現状に係わる論点の理解。

Schedule)

1. 以下のテーマについて、番号順に出来るだけ進めたい。
2. W. W.2 後の基本構造
3. 基本概念 (1)(交易条件)
4. 基本概念 (2)(国際収支と国際収支表の見方)
5. 基本概念 (3)(外国為替の決済と為替レート)
6. 18. 自由貿易論の系譜 (5)(新古典派による「比較生産費」説〔TCC〕理解)
7. 19. Pax Americana の世界経済 (1)(対外投資と多国籍企業の発展)
8. 20. 開発論の系譜 (1)(Marx 批判としての『経済発展の諸段階』と単線史観の破綻)
9. 21. 開発論の系譜 (2)(「輸入代替政策」と「輸出志向政策」, 「緑の革命」)
10. (途上国からの「比較生産費」説批判: 「従属学派」と世界システム論)
11. 23. Pax Americana の世界経済 (2)(ドル危機・地域統合への対応)
12. 24. Pax Americana の世界経済 (3)(エネルギー問題への対応)
13. 26. Globalization の功罪 (世界は Pax Consortis に向かうのか?)

Evaluation Criteria) 筆記試験

Re-evaluation) なし

Textbook) (講義中に指示する。)

Reference) 参照すべき図書は、適宜指示する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219090>

Contact)

⇒ Mizushima (2203, +81-88-656-7188, mizushim@ias.tokushima-u.ac.jp)
MAIL (Office Hour: 講義終了後(研究室ドアに表示), E-mail:mizushim@ias.tokushima-u.ac.jp, 電話:088-656-7188(研究室))

Note) 2009年度から、構成を変更する。上記は目安としてのみ理解してください。